# 事例を活用し、改善点を検討

府医療保険者協議会研修会

府と府医療保険者協議会共催の特定健診・特定保健指導事業従事者養成研修の第１回が、９月８日（火）、ルビノ京都堀川で開催され、７５名が参加した。

府医療保険者協議会の片田会長の挨拶のあと、第１回は事例検討編として、「積極的支援を成功させる方法を事例から学ぶ～中断してしまったのは何故か？中断せず減量に成功できたのは何故か？～」のテーマで成功と失敗事例を比較しながらグループワークを行い、グループ発表を行った。また、助言者である京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻予防看護学分野の星野明子准教授は未受診者の分析、中断者の分析、行動維持支援の重要性を訴えた。

午後からは、事業展開・体制等についてオムロン健康管理センターの堀本氏、全国健康保険協会京都支部保健サービスグループの石井氏、奈良県香芝市保健センターの松崎氏が、それぞれの事業展開・体制等を事例として示し、意見交換をして改善点について話し合った。

第２回、第３回は健康課題抽出編として、１０月１３日（火）と平成２２年１月２６日（火）に開催予定になっている。